NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要施策対象	うち多額の経費対象	①事務事業の概要 ②課題	28年度決算額[千円]	29年度決算額[千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成30年度に取組む改革・改善内容	30年度予算額[千円]
1	一般	4	1	1	116健康を支える保健・医療の充実	保健衛生事務に要する経費	健康増進課			①安心安全な医療を提供するため、二次救急事業の維持、健康管理センター管理医の配置、医師会等への補助金の支出を行う。 ②二次救急事業は鎌ケ谷市のみで実現することは不可能であるため、船橋市との協定締結による確保が必要である。	19,516	20,230	6精査・検証	①二次救急及び災害時等を含む医師会等の協力が必要不可欠であり、継続して実施していく必要があるため。 ②市内を中心に近郊地域までの医療機関情報を提供するかまがや安心医療ナビシステムを構築する。	23,722
2	一般	4	1	1	116健康を支える保健・医療の充実	健康づくり推進に要する経費	健康増進課			①食を含めた健康づくりのための講座・教室・相談・教育などを、ライフステージに合わせ推進する。 ②健康寿命の延伸のため、市民一人ひとりが健康づくりの取組ができるよう普及啓発を図る必要がある。	4,869	4,810	6精査・検証	①市民の健康維持・増進に向けた施策展開を行うため、絶えず検討する必要がある。 ②朝食や野菜の摂取向上、減塩について、講座の開催時期や方法を見直し、行動変容につながるよう働きかける。	5,220
3	一般	4	1	2	116健康を支える保健・医療の充実	各種健(検)診に要する経費	健康増進課	○		①がん疾患等の早期発見、早期治療を促進し、市民の健康保持と増進を図るために各種健(検)診を行う。 ②高齢化や国等から示される検査内容の変化、受入医療機関等の状況により、検診実施体制を今後どのようにしていくかが課題である。	91,354	91,512	6精査・検証	①疾病の早期発見、治療により市民の健康保持につなげるものであり、効果を精査・検証しながら進める必要があるため。 ②早期治療に繋げるため、肝炎ウイルス検診陽性者フォローアップ事業を開始するとともに、各検診の精密検査未受診者に受診勧奨を行う。	113,835
4	一般	4	1	2	116健康を支える保健・医療の充実	予防接種に要する経費	健康増進課	○		①感染症の発生及びまん延を予防するために予防接種を行う。 ②制度の改正が頻繁にあり、急遽ということもしばしばある。予算も含め、迅速な対応が必要である。	238,848	232,871	6精査・検証	①伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するため、効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②接種率向上のため、必要な周知、接種勧奨をする。	273,289
5	一般	4	1	2	116健康を支える保健・医療の充実	乳房レントゲン機器更新事業	健康増進課	○	○	①平成29年度の検診(集団)のない期間に、乳房レントゲン撮影機器の入れ替えを行う。 ②機器の更新により、精度の向上が図られた。より高い精度での検診の継続実施。	0	2,442	1終了	①若年化している乳がん検診の早期発見に適しているマンモグラフィーを精度の高い機種に更新し、入札から設置までが計画通りに進んだ。 ②なし	0
6	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	健康管理事務に要する経費	健康増進課			①円滑な事業展開のために必要な専門職を配置したり、事業に携わる専門職員の資質・技能の向上を図る。 ②市民の利用が少ない事業について、コストや効率性を含め、事業内容の見直しと改善が課題である。	14,859	11,918	6精査・検証	①市民の健康維持・増進に向けた施策展開を行うため、絶えず検討する必要がある。 ②人材を確保し、市民ニーズに応じた質の高いサービスを提供し、見直しが必要な事業は改善案を決定する。	14,567
7	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	母子保健に要する経費	健康増進課			①妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を提供するため、母子保健に関する啓発、健診、相談、育児支援を行う。 ②親が孤立せず、子育てを楽しみ、成長を確認できるよう、関係機関と協働し、継続した育児支援が必要である。	81,913	88,980	6精査・検証	①妊娠期からの切れ目のない支援やライフデザイン教育について、関係機関と協議し、改善点等を検討する必要がある。 ②産前産後サポート事業、宿泊型産後ケア事業を開始する。ライフデザイン事業を拡充する。	99,120
8	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	成人保健に要する経費	健康増進課			①40歳以上の市民を対象に、健康教育・相談・家庭訪問等を行い、生活習慣病予防などの健康づくりへの支援を行う。 ②講座参加者や健康教育対象者が70代の高齢者が多く、若い世代の参加が少ないことが課題である。	212	208	6精査・検証	①ハイリスク者への個別対応と健康な市民に対して予防啓発が必要であり、効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②事業の内容・周知方法を検討し若い層への参加を促す。	221
9	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	歯科保健に要する経費	健康増進課			①市民の生涯にわたる口腔の健康保持・増進のため、歯科健康診査・予防処置・健康教育・健康相談を実施する。 ②乳歯のむし歯は減少したが、永久歯のむし歯や歯周病により、国保に占める歯科医療費の割合は依然高いことが課題である。	2,937	3,231	6精査・検証	①むし歯や歯周病予防を推進するため、歯科健診や教育・相談の効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②若いうちからの歯周病予防を推進するため、20歳、30歳の歯周病検診の啓発を強化する。	3,266
10	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	精神保健に要する経費	健康増進課			①市民のこころの健康づくりや、精神障がい者が地域で生活しやすいように、講演会や学習会・相談・家庭訪問等を実施する。 ②精神疾患を理解し、市民・関係機関と協働し地域で支えていく必要がある。	826	628	6精査・検証	①誰もが住み慣れた地域で生活しやすいよう支援が必要であり、効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②精神疾患の知識、理解を深める講演会、相談窓口の周知等を継続する。自殺の現状分析をし関係者で共有、対策を検討する。	748
11	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	フッ化物洗口事業	健康増進課	○	○	①保育園・幼稚園・小学校・中学校特別支援学級においてフッ化物洗口を行い、生涯むし歯になりにくい強い永久歯をつくる。 ②洗口が全小学校全学年で実施できるようにするため、関係者の理解を得ながらシステムを構築する。	2,163	2,361	7拡充	①子どものむし歯予防は、歯科医療費の抑制につながり、有効性が高い。平成31年度まで毎年1学年ずつ対象を拡大する。 ②小学2～5年生を5月から継続実施、小学1年生に教育と洗口指導後、2学期からフッ化物洗口を週に1回実施する。	3,337

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要施策対象	うち多額の経費対象	①事務事業の概要 ②課題	28年度決算額[千円]	29年度決算額[千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成30年度に取組む改革・改善内容	30年度予算額[千円]
12	介護	5	2	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	介護予防普及啓発事業に要する経費	健康増進課			①介護予防講座や地区活動で啓発を行うとともに講座参加者からボランティアを育成し介護予防活動の推進を図る。 ②ボランティアを育成し、活動が活性化するように支援する必要がある。	1,173	1,420	6精査・検証	①介護保険法において介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業に位置付けられており、継続していく必要がある。 ②健康づくりボランティアのスキルアップを図り、活動の場を広げ、他課と連携し、地域での健康づくりの場や地域包括につながる体制をつくる。	1,850